

高田の四季



春日山神社の紹介等

よろしく
お願い
します♪



皆さん、こんにちは！高田地域事務所長の古川です。
高田地域事務所は、地域の皆様をはじめ日頃から多くのご支援、ご協力により成り立っています。この場をお借りし、所員一同、心より感謝申し上げます。

さて、9月に入っても厳しい残暑が続いておりますが、間もなく紅葉の季節を迎えます。そこで、今回は紅葉が美しくパワースポットでもある上越市の観光名所「春日山神社」を紹介したいと思います。

春日山神社は、山形県米沢市の上杉神社より分霊され、謙信公を祭神に祀っております。秋にはカエデ等の木々で赤や黄に染まり、紅葉に包まれた境内もお勧めです。また、春日山城跡の二の丸跡にあるイチョウの木も見どころの一つです。





入口の全体像



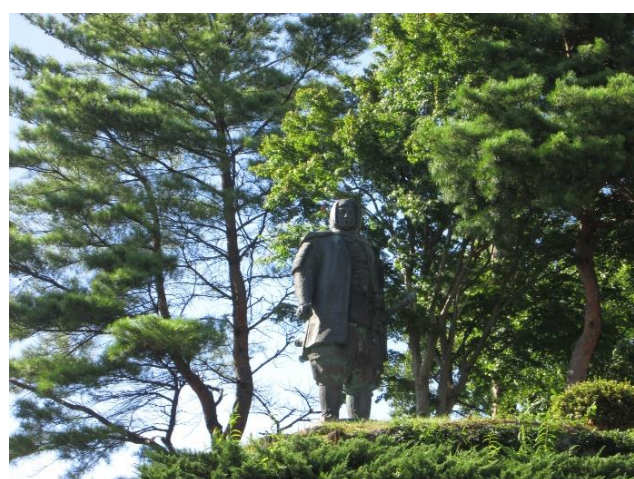
入口の階段



頂上の鳥居

8月某日の午後、厳しい暑さの中でしたが、久しぶりに春日山神社にやってきました。1月の高田所員一同での初詣で以来なので、約8カ月ぶりです。

下から見上げる長い階段「は～っ」と、ため息がでます。軽く屈伸してからいざ出発。長い階段を上った後の鳥居は雄大で感銘を受けます。初めて見た時は武者震いするほどでした。今回も募集祈願をし、心新たに頑張ります！「HPをご覧くださいの皆さん、陸海空自衛官募集中です！」



上 杉 謙 信 公 銅 像

【マメ知識】上杉謙信公の説明

享禄3年（1530年）、越後守護代であった長尾為景の末子として誕生。天文5年（1536年）家督を兄の晴景が継ぎ、春日山城下の林泉寺で青年期を過ごす。その後、天文17年（1548年）19歳で兄に代わって越後守護代となった。

以降、春日山城を居城として越後を統一する一方、内政や外交にも才を発揮するとともに武田信玄や北条氏康、織田信長といった戦国時代の名将と戦を重ねる。武田信玄との5回に渡る「川中島の合戦」は特に有名である。永禄4年（1561年）上杉憲政の頼みで山内上杉家を相続、関東管領に就任した。

謙信公の旗印は「毘」と「龍」である。「毘」は自らを毘沙門天の生まれ変わり信じ、厚く信仰していたからとったもの。また「龍」は「懸かり乱れ龍の旗」として総攻撃の際に掲げられた。

天正6年（1578年）、享年49歳で人生の幕を閉じるが、その生涯は戦の連続だった。戦国最強ともいわれ、混濁とした時代に「義」を重んじて戦った謙信公は、今でも清々しく感じる名将である。

